

第5回九州 MIST 研究会 開催レポート

平成 29 年 2 月 11 日(土)に第 5 回九州 MIST 研究会を開催いたしました。

降雪で交通の便も悪い中でしたが、冷え込みを吹き飛ばすような熱い盛り上がりを見せ、82 名の御参加をいただき盛会となりました。

御協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

一般演題は 6 題で、九州地区以外からも寺山星先生（参宮橋脊椎外科病院）、成田渉先生（祐生会みどりヶ丘病院脊椎脊髄外科センター）、加藤欽志先生（福島県立医大）に発表していただき、活発な意見交換ができました。

Best presenter award には、成績不良例も隠さず報告された寺山星先生の演題が選ばれ、獲得賞金は九州 MIST 会員とともに中洲の経済振興に使用されたとの噂をお伺いしました。

特別講演では、東京慈恵会医科大学附属第三病院整形外科の篠原 光先生より、「MIST 最前線～手術手技から MIST 研究会の取り組みまで～」という演題名通り内容の格調高い講演を賜りました。

山梨大学大学院総合研究部整形外科の江幡重人先生より LLIF の重大合併症を予見する-解剖学的検討-という演題名で、近年注目を集めている LLIF アプローチ関連合併症とその予防について解剖学的知見を中心に解説いただきました。

いずれも臨床に則した内容で日常診療に活かせる大変有意義な御講演でした。

シンポジウムでは“俺の MIS-LIF (1-2 椎間) : MIS-TLIF vs LIF+PPS” のテーマで 4 人の演者（長崎大学：津田先生、佐賀大学：前田先生、熊本機能病院：篠原先生、長崎労災病院：山口先生）にビデオ演題で各自の“こだわり”をふくめて報告していただいたあとに、4 人の演者 vs 篠原先生、江幡先生、有菌先生で討論をしていただき、MIS-TLIF と LIF+PPS の理解を深めることができました。

本研究会を盛会に終えることができたのも九州 MIST 研究会世話人の先生方をはじめ、サポート頂いた共催の旭化成ファーマ株式会社、協賛の各メーカーの皆様のお力添えのおかげと存じます。ご参加いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

次回の第 6 回九州 MIST 研究会は、平成 29 年 7 月 1 日（土）に熊本中央病院 水溜正也先生の当番世話人のもと開催される予定です。

日本 MIS^t 研究会会員の皆様におかれましては是非ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

まだまだ寒さが厳しいですが、くれぐれもご自愛ください。

第5回九州 MIS^t 研究会 当番世話人
佐賀大学整形外科 森本忠嗣

